

静岡県立大学広報誌

はばたき



No.120

2012. June



News&Report

- 入学式開催
- 平成23年度就職内定率98.7%

研究室訪問

- 薬学部
創剤科学分野創剤工学研究室

活躍する卒業生

- 国際関係学部 黒井理恵さん

平成23年度 学位記授与式

3月20日、学部・短期大学部・大学院の合同学位記授与式を開催しました。学部卒業生540名、短大部卒業生219名、大学院修士課程修了者145名、博士課程修了者23名、計927名が学位記を授与され、新たな一歩を踏み出しました。



(厳かな雰囲気の中 色とりどりの袴やスーツに身を包んだ卒業生ら)

平成24年度 入学式

4月6日に学部・短期大学部・大学院合同の入学式を開催し、今年度は学部生568名、短期大学部221名、大学院160名の計949名が入学しました。

式典終了後は、学生によるサークル紹介と、木苗学長による「学長一時限目の授業」が行われ、真新しいスーツ姿に身を包んだ新入生らは、これからはじまる大学生活への期待を胸に、とても晴れやかな表情でした。



(誓いのことばを述べる新入生代表 国際関係学部 1年 柏木早紀さん)

薬剤師国家試験で、薬学部が躍進！合格数83名で国公立大学1位！

3月3日及び4日に実施された、第97回薬剤師国家試験において、本学薬学部から90名が受験し、83名が合格しました。薬学部教育が6年制となつてから初めての国家試験である今回、国公立大学では、合格者数1位、合格率2位(92.22%)となり、薬学部を持つ3公立大学の中では合格者数、合格率とも1位の好結果となりました。



(県立総合病院での研修の様子)

薬学部では、地域の病院や薬局と連携した薬剤師教育を行っています。特に、静岡県立総合病院に薬学教育・研究センターを設け、薬剤師教育のみならず、臨床や治験等の医療実務と研究両面に深く関わるなど、優秀な薬剤師を輩出するための教育体制の充実を図っており、これらの取り組みが好結果の要因と考えられます。

管理栄養士国家試験合格率2年連続で100%

3月18日に実施された管理栄養士国家試験の合格者発表が5月7日に行われ、食品栄養科学部栄養生命科学科卒業生27名が受験し、全員合格となりました。新卒合格率100%は、前年度に引き続き2年連続の達成となりました。

新理事長就任のお知らせ

静岡県公立大学法人第3代理事長に、竹内宏氏の後任として免疫学の世界的権威である本庶佑氏が就任しました。



本庶 佑 (ほんじょ たすく) 昭和17年1月27日生(京都市) 京都大学大学院医学研究科修了。同大学院医学研究科長・医学部長、内閣府総合科学技術会議議員等を歴任。 <学位>医学博士(1975年・京都大学) <賞歴・栄典>1996年 恩賜賞・日本学士院賞 2000年 文化功労者 ほか <著書>「いのちとは何か 幸福・ゲノム・病」(岩波書店)ほか

平成24年3月卒業(修了)生 就職内定率 98.7%

平成24年3月卒業(修了)者の就職状況は、依然として厳しい雇用情勢が続く中、学生達が内定獲得まであきらめずに粘り強く就職活動を行ったため、学部生の就職内定率は98.6%で、全国の平均(93.6%)や県内大学の平均(89.6%)を大きく上回る結果となりました。

大学院修了者の就職内定率は99.1%、大学全体の就職内定率は98.7%と前年実績を0.3ポイント上回っています。

(キャリア支援センター)

●平成24年3月卒業(修了)者の就職内定率(平成24年3月31日現在)

	就職内定率	(前年度)
薬学部	100%	100%
食品栄養科学部	96.9%	100%
国際関係学部	98.0%	98.2%
経営情報学部	98.0%	98.9%
看護学部	100%	100%
学部計	98.6%	98.9%
大学院	99.1%	97.3%
合計	98.7%	98.4%

●平成24年3月卒業(修了)者の主な内定先(平成24年3月31日現在)

薬学部 薬学研究科	アステラス製薬、大塚製薬、小野薬品工業、科研製薬、第一三共、大鵬薬品工業、田辺三菱製薬、P&G ジャパン、名古屋大学医学部附属病院、静岡県
食品栄養科学部 生活健康科学研究科	エスエスケイフーズ、竹中工務店、永谷園、ニチフリ食品、ニチレイ、ネスレ日本、はごろもフーズ、米久、国立病院機構東海北陸ブロック、東京都、浜松市
国際関係学部 国際関係学研究科	三菱電機、ヤマハ発動機、横浜ゴム、静岡新聞社・静岡放送、静岡ガス、中部電力、鈴与、全日本空輸、三井住友銀行、静岡銀行、静岡県、静岡県教員
経営情報学部 経営情報学研究科	浜松ホトニクス、TOKAI、静岡鉄道、三井住友銀行、静岡銀行、静岡県労働金庫、静岡コンピューターサービス、ソフトバンクグループ、ミクシィ、静岡県
看護学部 看護学研究科	静岡県立こども病院、静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、聖隷三方原病院、東京大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、静岡市、藤枝市

キャリア支援センターでは、企業の採用活動の進行に合わせ、年間35種類以上のキャリア形成・就職支援講座や学内企業説明会を開催するとともに、専門のアドバイザーによる個別相談を実施するなど、きめ細かな支援を行っています。

平成23年度 ホスピタル・プレイ・スペシャリスト事業報告

Hospital Play Specialist (ホスピタル・プレイ・スペシャリスト:略称HPS)とは、英国で誕生した専門職であり、子どもの感じる苦痛やストレス、不安などを遊びの力を用いて軽減し、医療と関わる病児や障がい児とその家族を支援します。本学は日本で初のHPS養成教育を実施しており、23年度も講座を開講し、研究成果報告としてシンポジウムを開催しました。

■HPS養成講座

昨年度HPS養成講座は、応募者41名の中から16名(現職者15名、離職者1名)を第7クール受講生として迎えました。11月1日の開講式から翌年3月9日の修了式に及ぶ約4ヵ月間、受講生は講義や実習に取り組みました。



(演習を取り入れた講義の一部)

本講座では、前期と後期の2期制を採用し、前期終了から後期開始までの間にはプレイ・プログラムの立案実施、小児療養環境改善の取組、リフレクションに基づくレポートなどを通じ、学びを深めました。

後期は、今回が初来日となる英国HPSキャロライン氏を講師に迎え、英国初の歯科病院HPSとして同氏の多岐に渡る専門的な実践例に基づき、ホスピタル・プレイに必要な態度や知識を学びました。その後、受講生は、2週間の実習に臨み、HPSとしての専門的な遊び技術を習得しました。

16名全員が、3月7日、8日の口頭試問に合格し、HPSとなりました。子どもにやさしい医療を実現するための16名の挑戦が、今から始まっています。

■HPSシンポジウム

また2月11日には、短期大学部において「HPSシンポジウム」を開催しました。当日は「病児・障害児への専門的な遊び支援を考えよう」と題し、同志社女子大学教授の笠間氏と英国HPSキャロライン氏による講演、HPSワークショップ、そして産学連携共同研究成果シンポジウムなど、多彩なプログラムを展開し、合わせて176名が参加しました。

本シンポジウムの目的は、小児医療チームの一員としてHPSの役割を明確化し、Playに対する社会的な認知を向上させることでした。医療関係者を始め、福祉や医療に関心を持つ一般市民や学生の参加者も多数に上り、これまで以上にホスピタル・プレイに対する期待の高さが伺えました。

ホスピタル・プレイ・スペシャリスト養成教育責任者
松平千佳・森 裕樹



(シンポジウムの様子)

学生と教職員「県大のこれから」を語る —平成24年度開学記念行事の開催—

4月20日、今年で21回目となる開学記念行事を開催しました。学生と教職員が集い、スポーツやディスカッションなどの交流を通し親睦を深めました。

運動会

毎年恒例となった第一部の運動会は、生憎の曇り空となりましたが、100名以上の学生・教職員が優勝を目指して激しい得点争いを繰り広げました。

理事長講話「いのちとは何か」とフリーディスカッション

今年度新たに就任した本庶佑理事長による講話には、免疫学の権威による貴重な機会とあって、250名を超える聴講者が集まり、会場は超満員となりました。遺伝子レベルから見た人体や病気、生命についての話に聴講者は真剣に聴き入っていました。



(第2部 フリーディスカッション 学生と教職員が熱く語り合いました)

また、今年度新たな企画として「創立25周年を過ぎた県大のこれから」をメインテーマにフリーディスカッションを

開催し、学生と教職員が大学の将来などについて自由に語り合いました。トークテーマは「大災害の経験を活かす」「食と健康」「磨こう県大」など多岐にわたり、参加者はテーマごとグループに分かれ、学生と教職員の区別なく議論を交わし、最後はテーマごとに発表しました。

懇親会

開学記念行事の締めくくりとして、夕方からは懇親会を開き、400名の参加者が集まり楽しい交流の場となりました。懇親会では「おおとり会賞」の表彰を行い、今年度はアカペラサークルThe Vivaledgeの東日本大震災後のチャリティライブ活動が高く評価され、晴れて受賞となりました。最後は、毎年恒例の学生団体によるアトラクションが行われ、チアリーディングGOLD ROWDIESとジャズダンス部が、日頃磨いたパフォーマンスを披露し、会場を沸かせました。

はばたき寄金からのお知らせ

—はばたき寄金にご協力いただきありがとうございました—

はばたき寄金とは

豊かで明るく活力ある社会を構築するため、世界にはばたく人づくり事業や外国大学との交流事業、本学の学術・文化等の発展、向上に努めた人への顕彰事業などを行うために県立大学創立10周年を契機に創設された寄金です。

平成23年度はばたき寄金事業実績

- 奨学金の授与
モスクワ国立国際関係大学短期交換留学生2名に奨学支援金を、また成績優秀者に授与される学習奨励金の一部を支援しました。
- 第14回学生スピーチコンテスト、第15回学生文芸コンクール及び創造力啓発コンテストの実施
昨年10月30日に第14回学生スピーチコンテストを開催し、コンテスト終了後入選者の表彰を行いました。また同日に、夏から作品を募集した第15回学生文芸コンクール及び創造力啓発コンテストの表彰も併せて行いました。
- はばたき賞の授与
薬学部1年 梅村晃子さん(卓球部)
全国国公立大学卓球大会女子シングルの部で優勝するなどの、部活動における功績を称え表彰しました。
- おおとり会賞の授与 男子サッカー部
- 開学記念行事(第1部運動会)への助成

受賞一覧

*各受賞の詳細については本学公式サイトニュース&トピックスからご覧いただけます。

学生

◆DEIM 2012 学生奨励賞

経営情報イノベーション研究科 伏見 卓恭さん
大学院経営情報イノベーション研究科博士後期課程2年の伏見卓恭君が、3月に開催されたDEIM 2012 (第4回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム・第10回日本データベース学会年次大会)において、学生奨励賞を受賞しました。
論文名:「ノード集合に対する媒介中心性の提案」



◆第74回情報処理学会全国大会 学生奨励賞

経営情報イノベーション研究科 小出 明弘さん
大学院経営情報イノベーション研究科修士課程2年の小出明弘さんが、3月に名古屋工業大学で開催された、第74回情報処理学会全国大会において、学生奨励賞を受賞しました。
論文名:
「Twitterの@-messageで構成される成長ネットワークの分析」



◆日本薬学会第132年会 学生優秀発表賞

薬学部・薬学研究科 学生18名
薬学部および薬学研究科の学生18名が、3月に開催された日本薬学会第132年会において、学生優秀発表賞を受賞しました。同賞は、一般口頭発表における発表者から優秀な発表をした学生に対して贈られたものです。

活躍する卒業生

たくさんの人を巻き込みながら、その場をまとめて、次に進め、形にしていけることが私の仕事



お名前 黒井 理恵さん
学部 国際関係学部国際関係学科
学科 (2000年3月31日卒業)
勤務先 株式会社シータ&ゼネラルプレス

Q1.どんなお仕事をされていますか?

企業の広報活動やCSR(企業の社会的責任)関連の情報発信のプロデュース、コンサルティングなどを行っています。「よりよい社会をつくる」

「社会に良い活動をしている人や企業を、たくさんの人に知ってもらいたい」という自身のライフワークと仕事とがリンクしているので、とてもやりがいを感じています。

Q2.大学生活はどんなことに力を入れていましたか?

ゼミでは開発経済学を学び、サークルではボランティア活動や静岡県内のNGOとイベントなどを行っていました。当時経験したことは、仕事における基礎知識や情報へのアンテナの立て方につながっていて、今の私の強みになっていますね。

Q3.静岡県立大学に入学してよかったと思うことはありますか?

一番の収穫は、近い考え方を持つ大切な友達を得られたことです。今も交友があり、よく情報交換をしています。また、学外にネットワークを持つ先生方の存在や、学内のコミュニティにとまらないアクティブな学生が多く、外とつながる土壌が大学にあったので、多くの人と接点を持ちながら学生生活を送ることができました。

Q4.今後の目標について教えてください。

企業のCSR活動というのは一般の生活者に

◆財務省財務局主催 第1回 学生論文コンテスト 優秀賞

経営情報学部 香川 理紗子さんほか
経営情報学部経営情報学科管理会計論研究室所属の香川理紗子さん、鈴木志矢さん、福田誠さんが、財務省財務局主催第1回学生論文コンテストにおいて優秀賞を受賞しました。
論文名:
「地域経済の中で事業の改善・開拓を行う企業と金融機関が成長していくために〜リスクを恐れた消極的な姿勢の改善に向けて〜」



教員

◆第32回日本臨床薬理学会年会 優秀演題賞

薬学部 田中 紫菜子助教
薬学部 実践薬学分野の田中紫菜子助教が、12月に開催された第32回日本臨床薬理学会年会において優秀演題賞を受賞しました。
演題:
「日本人肺動脈性肺高血圧症患者におけるsildenafilおよびbosentanの血漿中濃度の測定」



◆第89回日本生理学会大会 ポスターアワード

薬学部 五十里 彰准教授
薬学部生体情報分子解析学分野の五十里彰准教授が、第89回日本生理学会大会において、ポスターアワードを受賞しました。
演題:
「マグネシウムによるクロロゲン-16のリン酸化と細胞内局在の調節」



はまだまだ理解が進んでおらず、やるべきこと、やりたいことはたくさんあります。企業と生活者が「ソーシャルグッド」な共通の価値を見出して、双方が一緒により良い社会を作っていく関係を築くためのお手伝いを、この仕事を通してしていきたいと思っています。

Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。

人とたくさん話して、気持ちの向くままにたくさん行動を起こしてください。アタマとココロをフル回転させ、自分の内に潜在するものをじっくり抽出すること、それを仲間と共有し、今度は仲間とともに行動を起こすこと。仲間とともに行動した経験値とあなた自身の成長は必ず比例していくはずですよ。



プライベートで主催した「対話」の力を企業内に活かす方法を学ぶイベント。企業のCSR担当者やNGO、大学生など約40名が参加。(黒井さんは右から2人目)

学生の日々

学生たちのサークル情報・課外活動をご紹介します。

スキー合宿

毎年恒例となっている留学生スキー合宿が、今年も2月17日から20日までの4日間、長野県の白馬乗鞍温泉スキー場で開催されました。参加した留学生は、フィリピン、インドネシア、タイ、スリランカ、ベトナム、中国など8か国に渡り、3泊4日のスキー合宿を満喫しました。



参加学生の感想

大学院 国際関係学研究科 修士課程1年 陳冬梅

私の出身地の中国、内モンゴル興安盟烏蘭浩特市は、一年の半分近くが雪と氷に閉ざされる大変厳しい気候です。年に一度の冬季冰雪・那達慕(ナードム)大会や雪の彫刻祭といった様々なイベントが開かれ、観光客は雪の彫刻の観賞を楽しんだり、雪上ドライブをしたりすることができますが、地形がなだらかなためにスキー場がなく、日本に来るまで一度もスキーをしたことがありませんでした。私以外の参加者は、ほとんど雪を見たこともない熱帯アジアからの留学生で、中には雪を見るのも触るのも今回が生れて初めてという人もいました。

最初の2日間は雪に恵まれ、見渡す限りの銀世界。先生達はスピードが出る滑り方として、スキーを閉じながら少しジャンプして滑る方法を教えてくださいました。勢い余ってコースから外れて大転倒した挙句に雪に投げキスをしたり、楽しくて、みんなで涙が出るほど笑いました。

3日目からは快晴で、絶好のスキー日和となりました。最初は満身に滑れませんでしたでしたが、みんな慣れてきてスイスイと滑れるようになりました。みんなの習得の早さに驚かされました。大石先生達の丁寧なご指導もあり、最終日には自由自在に、かなり急な斜面でも滑り降りることができるようになりました。みんなも去年よりさらにレベルアップすることができたように感じます。

スキーの後は、温泉に入っのんびりとして、そして美味しい晩御飯。その後は懇親会で毎晩のように盛り上がり、最高の4日間でした。今まであまり話をしたことがない留学生とも、この合宿をきっかけに仲良くなることができましたし、先生方とも普段は相談できないことも率直に話し、色々と相談に乗っていただきました。日本での本当に貴重な思い出となりました。来年もぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。

食品栄養科学部学生らが静岡駿府マラソンに参加

3月4日に開催された第37回静岡駿府マラソン大会に、食品栄養科学部・薬食生命科学総合学院に所属する教職員と学生からなる有志16名が参加し、自己ベスト更新や制限時間内完走など、それぞれの目標に向けて日頃の練習の成果を発揮しました。



参加学生の感想

大学院 薬食生命科学総合学院 修士課程1年 松下亜沙実
森本 優香

先生や友人と一緒に走ることが楽しい!とジョギングを始めて1年。今回初めて駿府マラソンに挑戦しました。当日は雨予報でしたが、曇りとなり、大変走りやすい天候で5km及び10kmのコースを、それぞれ目標に向けて走りました。学内の駅伝大会とは異なる景色と、沿道の温かい声援、また、思い思いの格好でマラソンを楽しむランナーの方々とともに走ることで、10kmの道のりも楽しく、笑顔で走り切ることができました。今後も、このような学内外で行われるイベントに積極的に参加し、先生方や他学年との交流をより深めることで視野を広げ、充実した学生生活を送ってきたいと思います。

◎学生のみなさんへ

クラブ・サークル、課外活動等をはばたきでご紹介します。大会への出場結果やイベント開催の告知など、情報をお寄せください。

お問い合わせ

はばたき棟2F 広報室

●TEL:054-264-5130

●E-mail:koho@u-shizuoka-ken.ac.jp

本学が取り組む産学連携に関連した研究成果やイベント等の情報をご紹介します。

研究成果報告

自然農法で栽培する静岡茶を使用した自然派化粧品の研究開発

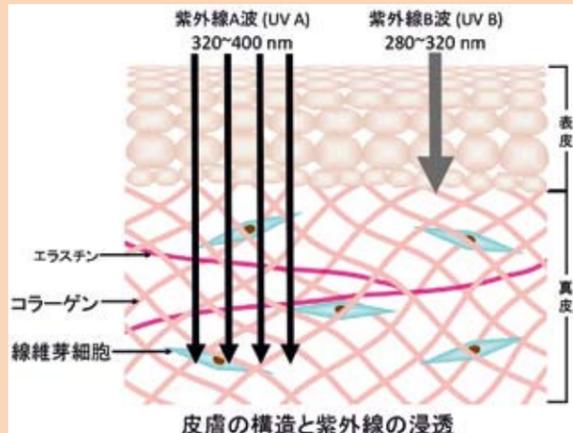
食品栄養環境科学研究院
(老化制御研究室)
太田 敏郎 助教

静岡茶の魅力をもっと知ってほしい、お茶が持つ良い成分を活用したいという思いを商品化すべく、食品栄養環境科学研究院の太田敏郎助教が株式会社静玄と共同研究を行い、静岡茶を活用したオーガニック化粧品が開発されました。

この化粧品は、自然農法で栽培されている静岡茶の葉と花から抽出した成分が、皮膚深部の細胞が紫外線から受けるダメージを抑制することに着目し、その成分を原料として使用しています。なお、本共同研究は、静岡市の「産学共同研究委託事業」の支援を得て行われたものです。



太田 敏郎 助教



製品化イメージ



研究に関するお問い合わせ

教育研究推進部産学連携室
TEL:054-264-5124 FAX:054-264-5099
E-mail:renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

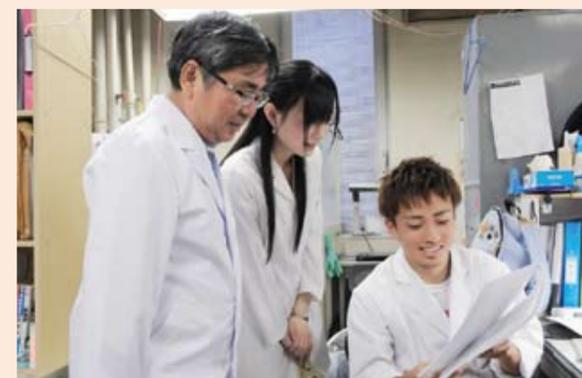
薬学部 創剤科学分野創剤工学 研究室

板井 茂 教授
(プレフォーミュレーション, 製剤設計, DDS)
■ 在籍学生数:36名
■ <http://W3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/pharmeng/>

創剤とは、何らかの効能や作用を持った物質を、「くすり」として服用される医薬品のかたちにするための研究のことです。具体的にどんな研究なのか、またその魅力を教員と学生に聞きました。

最も身近な創薬研究領域

「医薬品は創薬の研究現場から製造、臨床と、多くの過程を経て私たちの手元に届きますが、創剤はいわばその『出口』に最も近い研究」と板井教授は話します。「例えば、製剤から薬物が溶け出す速度や時間を調節すれば、成分が最も有効な状態で作用するようにしたり、服用回数を減らすことができる。そのための製剤の剤形をどうするか、薬物の性質を理解した上でデータを算出していくので、他領域への造詣を深めつつ、数学力も必要としますが、基本は“ものづくりが好き”という学生が多いのでは。」



一人ひとりが自分で選んだ研究を

創剤工学研究室の特徴は自分でひとつ研究テーマを選ぶこと。研究室全体での共同研究ではなく、各人が個々の研究に集中できる体制を取っています。一方で、プレゼンや文献紹介を毎週必ず行い、研究室全体が集う場を設けます。「毎週の発表は、学生主体で行います。うちの研究室は教員より先輩が厳しい。先輩が後輩を指導することで先輩自身も学びを得る。この仕組みが代々受け継がれています。」

悩むことが大事

毎月教員との個別相談があり、ここでも学生の発言を尊重しているとのこと。「学生に一番伝えたいことは『問題を解決する力』。社会に出て、仕事上の課題や人間関係などの問題に直面したときには、自らの頭で考え行動する、学問とは違う能力が必要とされます。ただ技術や知識を詰め込むのではなく、研究を通して悩み、乗り越える術を身につけて欲しいと思っています。」

学生の声

“自分の研究成果が製剤としてかたちに残るのが最大の魅力”



薬科学専攻博士前期課程1年 青木肇さん

今は、クラリスロマイシンという抗生物質を含んだ胃内浮遊製剤について研究しています。英語の勉強も研究職には欠かせません。同研究室の先輩や科学英語専門の先生の存在は心強いです。

“常に学生の将来を考えてくれる板井先生を信頼しています”



薬学専攻博士課程1年 舟越由香さん

5年生だった当時、日中は病院実習、夜は大学で研究という生活でした。薬剤師でなく研究の道へ進みたいと悩み、板井先生に相談したんです。博士課程に進んだ今、経皮吸収製剤(塗り薬)の研究にやり甲斐を感じています。

イベントで絆を深める

お花見、BBQ、卒論打ち上げなど一年を通してイベントが盛りだくさん。現在は夏の研究室旅行を計画中



創剤研究に欠かせない機器設備も充実

気流を利用して微粒子の造粒やコーティングを可能とする装置「マルチプレックス」。この装置を使って、100-200μmの製剤を創る研究などが行われる



教員人事

◆就任 部局長等(4月1日付)

富沢 壽勇	グローバル地域センター副センター長	菅 敏幸	学長補佐(広報担当)
豊岡 利正	大学院薬食生命科学総合学府長 大学院薬学研究院長	中山 勉 室谷 哲	学長補佐(産学連携担当) 学長補佐(教務担当)
合田 敏尚	大学院食品栄養環境科学研究院長	岩崎 邦彦	学長補佐(社会人教育担当)
犬塚 協太	男女共同参画推進センター長	西田 在賢	学長補佐(社会人教育担当)
小林 公子	男女共同参画推進センター副センター長	若林 敬二	学長補佐(環境科学研究所将来構想担当)
奥 直人	学長補佐(国際交流担当)	石川 准	大学院国際関係学研究科附属グローバル・スタディーズ研究センター長

◆採用(4月1日付)

井之上 浩一	薬学部薬学科	講師	島田 孝夫	国際関係学部国際言語文化学科	特任教授
ホーク フリップ	薬学部薬科学科	講師	立田 洋司	国際関係学部国際言語文化学科	特任教授
山口 賢彦	薬学部薬学科	助教	今磯 純子	看護学部看護学科	准教授
石内 勘一郎	薬学部薬学科	特任助教	水野 暢子	看護学部看護学科	准教授
佐藤 道大	薬学部薬学科	特任助教	長田 知恵子	看護学部看護学科	講師
杉山 晋平	薬学部薬学科	特任助教	ノリス ジェラルディン	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
恒松 雄太	薬学部薬学科	特任助教	ピーターズ マイケル	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
大泉 康	大学院薬学研究院	特任教授	ファン ジェリー	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
三浦 進司	食品栄養科学部栄養生命科学科	准教授	ペイリー ベンジャミン	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
伊藤 聖子	食品栄養科学部栄養生命科学科	助教	レンハート エリック	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
細谷 孝博	食品栄養科学部食品生命科学科	助教	ローズ ケント	言語コミュニケーション研究センター	特任講師
米谷 民雄	食品栄養科学部	特任教授	階戸 陽太	言語コミュニケーション研究センター	特任助教
本田 悦朗	国際関係学部国際関係学科	教授	藤森 敦之	言語コミュニケーション研究センター	特任助教
松浦 直毅	国際関係学部国際関係学科	助教	竹内 宏	グローバル地域センター	センター長(特任教授)
北野 嘉章	大学院国際関係学研究科	助教			

◆採用(5月1日付)

鈴木 和香子	看護学部看護学科	助教
--------	----------	----

◆昇任(4月1日付)

武田 厚司	薬学部薬科学科	教授
伊藤 創平	大学院食品栄養環境科学研究院	准教授
松森 奈津子	国際関係学部国際言語文化学科	准教授

◆退職(3月31日付)

藤井 敏	薬学部薬科学科	教授
宮瀬 敏男	薬学部薬科学科	教授
星野 稔	薬学部薬科学科	教授
鈴木 由美子	薬学部薬科学科	講師
松野 研司	大学院薬学研究科(創薬探索センター)	講師
鈴木 裕一	食品栄養科学部栄養生命科学科	教授
横越 英彦	食品栄養科学部栄養生命科学科	教授
佐藤 努	食品栄養科学部栄養生命科学科	助教
望月 和樹	食品栄養科学部栄養生命科学科	助教
酒井 坦	大学院生活健康科学研究科食品栄養科学専攻	教授
小谷野 俊夫	国際関係学部国際関係学科	教授
中山 慶子	国際関係学部国際関係学科	教授
島田 孝夫	国際関係学部国際言語文化学科	准教授
立田 洋司	大学院国際関係学研究科比較文化専攻	教授
三輪 真知子	看護学部看護学科	教授
石塚 淳子	看護学部看護学科	准教授
勝又 里織	看護学部看護学科	講師
白石 葉子	看護学部看護学科	講師
美濃 祐紀子	看護学部看護学科	助教
紙屋 克子	大学院看護学研究科看護学専攻	教授
岩村 武	環境科学研究所	助教
榎原 啓之	環境科学研究所	助教

◆客員教授・准教授(教授)

竹元 万壽美	奥羽大学薬学部教授	H23.4.1~H26.3.31
園部 尚	公立大学法人宮城大学理事	H23.4.1~H26.3.31
迫 和博	アステラス製薬(株)製剤研究所長	H23.7.1~H26.3.31
林 真	助食品農薬品安全性評価センター副理事長・センター長	H23.8.1~H25.3.31
滝川 修	国立長寿医療研究センター研究所 室長	H23.10.1~H26.3.31
伊勢村 護	一般財団法人 杉山産業化学研究所 評議員	H23.12.1~H26.3.31
ハーハラ ティンママン	カンサス大学薬学部 主任教授	H24.4.1~H27.3.31
野々木 宏	国立循環器病研究センター客員部長 静岡県立総合病院院長代理	H24.4.1~H27.3.31
ロベルト ウイリアムス	コロラド州立大学化学科 教授	H24.4.1~H27.3.31
藤井 敏	静岡県立大学薬学部 前教授	H24.4.1~H27.3.31
横越 英彦	静岡県立大学食品栄養科学部 前教授	H24.4.1~H27.3.31
リハ トリガク テッカー	ニュージャージー医科歯科大学医療技術学部 教授	H24.4.1~H27.3.31
浜島 信之	名古屋大学大学院医学系研究科 教授	H24.4.1~H27.3.31
白石 不二雄	(独)国立環境研究所環境リスク研究センター 前室長	H24.4.1~H27.3.31

(准教授)

櫻川 智史	静岡県工業技術研究所 研究主幹	H24.4.1~H25.3.31
-------	-----------------	------------------

◆名誉教授(4月1日付)

小出 義夫	前経営情報学部教授
影山 喜一	前経営情報学部教授
勝矢 光昭	前経営情報学部教授

図書館改修報告 最終章

図書館だより



図書館改修を行った平成23年度を振り返ってみると、4月初から書架の本の移動等の準備を行い、書架の大移動という最も大掛かりな工事が行われたのが8月の中旬でした。書架の移動に際しては、「改修の大前提としての書架移動ができなければ広い空間が確保できず、改修計画の根本が崩れてしまう。」という絶望感に襲われる問題がいくつも待ち構えていました。そういった問題が何とかクリアされ、8月から約8ヶ月間、通常の開館スケジュールを変更することなく、多くの方々の力を借りて改修が進められました。

3月末までかかってすべての計画は何とか滞りなく終了し、新年度を迎えることができました。改修後の図書館は、個人学習、グループ学習、ゼミやプレゼンテーションなど、学習形態に合わせていろいろなスペースを利用することができ、情報検索用のPCも新たに整備されました。

今後、図書館の施設や設備の利用促進に努め、図書館資料や情報の整備充実を図り、学習環境の整備を継続して進めていくことで、学生生活の充実の後押しができればと思っています。



3階のLCフロアはグループワークに最適で、眺めも申しありません

1階フロアは、書架が大移動して、庭から射し込む光を楽しめる空間となりました



セミナールームはプロジェクト室で、ゼミや講習会にも利用できます

出入りできない庭ですが、石像のふくろうが興味深げに館内を見ている...

本学教員からの寄贈著書

- 津富 宏先生(国際関係学部)
『若者就労支援「静岡方式」で行こう!! : 地域で支える就労支援ハンドブック』
クリエイツかもがわ(366.29/Ts92)
- 栗田 和典先生(国際関係学部)
『警察』(近代ヨーロッパの探検13)ミネルヴァ書房(317.7/H48)
- 岩崎 邦彦先生(経営情報学部)
『小が大を超えるマーケティングの法則』
日本経済新聞出版社(673.7/I96)
- 松浦 直毅(国際関係学部)
『現代の<森の民>』昭和堂(389.447/Ma86)

2011年12月10日から2012年4月10日までの先方からの寄贈著作資料は以上のとおりです。(受入順)

キャレルは、ヒノキの香りの残る机で集中して学習できる快適空間です

グループワークルームは机の組み合わせの工夫でグループ学習も捗ります

駿河路ようかん

静岡の特産品から
はじまる物語

静岡県立大学

木苗学長のアイデア。

静岡を旅して出会える
特産品をひとつくち羊か
んに練り込みました。



静岡産茶葉
有東木産わさび
由比産桜えび
駿河湾深層水塩
伊豆産だいたい
静岡産さつまいも
伊豆産桜葉

小売価格 税込 680円

販売元 有限会社 望月茶飴本舗
〒420-0003 静岡市葵区片羽町 62
☎ 054-254-8088
FAX 054-252-8088

取扱店 静岡県立大学 売店
静岡駅パルシェットF
食彩館「静岡やぶきた羊かん」
富士サービスエリア上り
新東名 静岡サービスエリア上下
新東名 沼津サービスエリア上下

新発想。ビフィズス菌を
生きたまま守って、守って
「大腸」まで届ける。

「胃」で守る、「小腸」で守る。
若々しく健康的な
毎日のためには、善玉菌を
増やすことが大切です。
「ビフィコロン」は
40億個のビフィズス菌を
独自の「ダブルガードカプセル」で
生きたまま「大腸」に
届けるサプリメント。
1日1カプセル(目安)で
腸内環境を整え、
毎朝のスッキリや
元気なカラダづくりを
応援します。

2012年5月
新発売



通販限定

[ビフィコロン]内容量:8.4g(0.28g×30カプセル) 1日1カプセル目安(約1ヶ月分) 通常価格4,200円(税込)
●原材料に乳・カニ由来の成分を含みます。アレルギーのある方はお控えください。

日清製粉グループ

「ダブルガードカプセル」で
ビフィズス菌を
生きたまま大腸まで届ける!

- ①「胃」では
カプセル外側層で
ガード!
カプセル外側の耐酸性
ガード層が胃酸から守ります。
- ②「小腸」では
カプセル内側層で
ガード!
小腸に入るとカプセル
外側層は胆汁で溶解。
内側の難消化性
ガード層が胆汁から
ビフィズス菌を守ります。
- ③「大腸」まで
ビフィズス菌が届く!
大腸に入ると
カプセル内側層も溶解。
40億個の生きた
ビフィズス菌が大腸内に
飛び出します。

【商品についてのお問い合わせ】

※500円のお試しセットもございますので、お気軽にお問い合わせください。

通話料無料

0120-240-410

※携帯電話からも
ご利用いただけます。

http://nisshin-pharma.com

受付時間 9:00~21:00【土・日・祝日も承ります(年末年始を除く)】

ビフィコロン

検索

24時間受付

日清ファルマ株式会社

〒101-8441

東京都千代田区神田錦町1-25

広報誌はばたきに広告を掲載する事業者を募集しています。

広告掲載については本学公式サイト「企業・一般の方へ」のページをご覧ください。